



俺はリムルIIテンペスト。

三上悟として日本でサラリーマンしていたが、通り魔に刺され死亡し、この世界にスライムとして転生した。

それからは色々あって、魔物たちが平和に暮らせる国「ジュラ・テンペスト連邦国の盟主になったりした。


その間も、運命の人であるシズさんと出会いこの姿を得たり、

運命の人が育てていた教え子達を救ったりしながら、第二の人生を楽しんでいる。

そんな折、テンペストと交流のあるブルムンド王国、その国にいる、自由組合のギルド長のフューズから、連絡が入った。  
なんでも、公にしづらい案件があり、俺に内々に伝えたいという事らしい。

一応、俺はテンペストの盟主であるわけで、その俺をわざわざ呼び出すなんて、よほどの事に違いない。


俺は大急ぎで準備し、フューズの指定した宿へと向かう事となったのだ。



リムル殿  
秘密裏に大規模な人身売買組織が  
動いているようで  
心当たりはありますか？

そういえば…

つい最近の出来事だ。  
俺が教師を務める、イングラシア王国自由学園の生徒達が、課外学習中に野盗に襲われる事件があった。  
あの時の野盗共は身代金が目当てのようだったが、野盗の背後に何かいる可能性は否定できない。



その件と関連があるかはわかりませんが…  
どうやら性奴隷目的で異世界人を  
手あたり次第に召喚したり  
攫ったりしてる組織があるようです

はあっ!!  
性奴隷だっ!!

召喚された異世界人の寿命は短い事が多い。  
長命でない分、性奴隷としては使い勝手が良いのだそうだ。  
聞いていてふっふつと怒りが湧いてくる。異世界人をそんな事に使うなんて。  
これを放置しておけば、いずれ俺の生徒達にも被害が出るかもしれない。

なるほど、確かに公に  
出来る話ではないね  
ありがとうフューズ君  
こちらでも調査を進めてみるよ

よろしくお願いします  
何しろ敵は狡猾で中々尻尾を  
掴ませませんからね：  
こちらでは手の打ちようが  
無かったんです

まんまとフューズに利用される形となったが、こればかりは仕方ない。  
むしろこの情報を提供してくれた事に感謝したい。  
俺の生徒達が捕まり、クロエが、アリスが、性奴隷になるなんて、想像するだけでも腹が立つ。  
そんな未来は絶対に回避しなければならぬ。俺は宿に戻り、作戦会議を開く事にした。

というわけで  
どうやって調査すべきかな？  
大賢者、何か良いアイデアはあるか？

俺が話しかけた相手は、  
俺が転生した時から持っているスキル、大賢者だ。  
俺の疑問に回答してくれる人工知能のようなスキルだが、  
正直俺より遥かに優秀で助かっている。

解。潜入捜査、もとい囮捜査が  
最も成功率が高いと考えられます。

なるほど、囮捜査か！  
それなら内部に潜り込めるな！  
さっすが大賢者！



…でも、誰がそんな  
危険な事をするか、だな…

人身売買組織に囚として潜り込むなら、  
その被害者として潜り込むしかない。  
しかし被害者として潜り込むという事は…  
その被害を受けるといふ事に他ならない。  
シユナ？ シオン？ いやダメだ。  
あいつらをそんな目に合わせるわけにはいかない。

解。一人だけ  
適任者がいます。

適任者？  
一体誰…



そうやって大賢者は突然、俺のスキルである暴食者を使い、俺の着ていた服を収納した。目の前の姿見には、本来性別が無いはずの俺の裸が：なぜか小ぶりなおっぱいと割れ目付きで映し出されている。いきなりの事に混乱し、俺は素っ頓狂な声を上げて固まってしまった。

うわぁっ！！？  
いきなり  
何するんだよっ！！？

解。マスターの  
目の前に写る  
その方が適任者です。

へっ…？  
お、俺えっ！！？

俺はもともと無性だが、シズさんと出会いこの姿を得ているので、基本的には女性的な外見になっている。また、この体はスライムであり、魔素でいくらでも変形可能なので、より女性型にも出来る。つまり、生まれつき女性である者が囮役になって犯されるより、俺が犯される方がマシというのが、大賢者の判断というわけだ。

じー  
そ、それにしても  
この姿は…

俺は鏡に映る自分の姿をまじまじと見つめる。  
…実にエロい。未成熟なボディとはいえ  
可愛らしい顔との相性が最高じゃないか！  
こんな可愛い娘が、囮捜査で性奴隷としてあんな事やこんな事に…。  
って、何考えてんだ！ この鏡の中の女の子は俺だぞ！！





しかしこの見た目を活かすのは  
シズさんに悪い気はするが…

ひゃっ!  
な、なんだ?!

マスターは現在  
任務に最適な女性体を  
保有してます。  
自覚が必要と判断致します。

スライム!?!  
大賢者さん?!



スライムはその形状から  
全身を愛撫することが  
可能なので、  
女性体の初体験には  
最適なプレイと  
判断しました。

マスターが興奮し  
期待している事は  
理解しています。

そういう話ではなく…  
ってスライムが絡まって…  
敏感な場所にピリツとした  
刺激が…♡

な、何言ってる…  
こんな特殊性癖に  
期待なんか…  
んっ…♡



否。マスターが生前  
保有していたデータの中に  
TS物やスライム物が  
あった事は把握済みです。

ちよっ…大賢者さん?!  
さらっと人の  
性癖暴露しないでっ!!



性的興奮の高まりを感知。  
女性性感帯の正常稼働を確認。  
これより内部への侵入を開始します。

な、内部ってまさかっ…



告。この程度で絶頂し  
動けなくなるようでは  
捜査に支障をきたします。

…いやいや、この程度って  
めちゃうくちゃ感度高いん  
だけどここの体…

肉体的感度の違いもありますが、  
童貞だった事による  
経験不足も大きな要因です。

うっ…

絶頂で腰が抜けた状態になっている俺に対して、大賢者が容赦なくダメ出しをしてくる。  
大賢者さん、俺のスキルだよな？ なんか厳しすぎない？ 童貞のくんだりいらなくない??

作戦成功のため、マスターには  
性的快樂に慣れて頂く必要があります。  
それがマスターの希望でもある事も  
承知しています。

うっ… そ、それは  
そうだけど…

それでは更なる  
性的行為に  
移行いたします。

うえええー！？  
こ、これって  
スクール水着…

是。マスターが生前  
保有していたデータの中に  
スクール水着モノが  
あった事は把握済みです。

大賢者さん…何度も人の性癖  
暴露するのやめて？  
まあでも、確かに似合ってるな…

マスターの性的興奮を感知。  
分身体にて行為を実行します。

分身体？どういう事だろう。  
そんな事を考えた直後、  
俺の目の前に突然  
白い光が輝いた。



め、目の前に…  
俺っ!?

是。マスターの  
分身体です。

目の前に現れた美少女：俺の分身体が、  
いきなり俺の股間に指を伸ばしてくる。  
今の自分の姿とわかってるもの、  
目の前に現れると、美少女の存在感というか…。  
何かいい匂いするし…。  
やばい、これはドキドキする…。

大賢者の提案により、俺は自由学園の制服を着て、ギルドで薬草採取の依頼を受ける形で峠へと向かった。当然、その情報は人攫いにも伝わっているようで、薬草採取を開始してすぐに俺は山賊の集団に襲われた。捕まる事が目的とは言え、無抵抗で捕まっては怪しまれてしまう。俺は2、3人の山賊を適当に倒した後、山賊の攻撃をわざと受け、俺はその場に伏せるように倒れた。

ぎゃあっ！

ちっ…  
手間かけさせやがって…  
そいつは痺れ薬だよ

流石は自由学園の  
生徒なだけあるな…  
くっそ、好きなように  
ボコリやがってよ

それにしても  
コイツは上玉だな  
これなら変態相手に  
高く売れそうだぜ！

オラ!!  
死にたくなければ  
両足広げてこっちに  
ケツ向ける!!

うっ...  
は、はいっ...

おいおい、小柄な  
体格のくせに  
メスの身体  
してるじゃねえか

この色気の無い  
下着がそそり  
やがるぜ...  
ごくり...

俺、本当に山賊に襲われてるんだよな...?  
こんな美少女が、山賊に...。  
この状況、まるでエロ漫画だな...

ぎゅん

ぐん





それにしても  
いい顔してるじゃねえか  
俺直々に  
可愛がつてやろうか？

ひっ!!  
やめっ!!  
触らないでっ!!

へへっ…  
可愛らしい声で  
喚きやがる

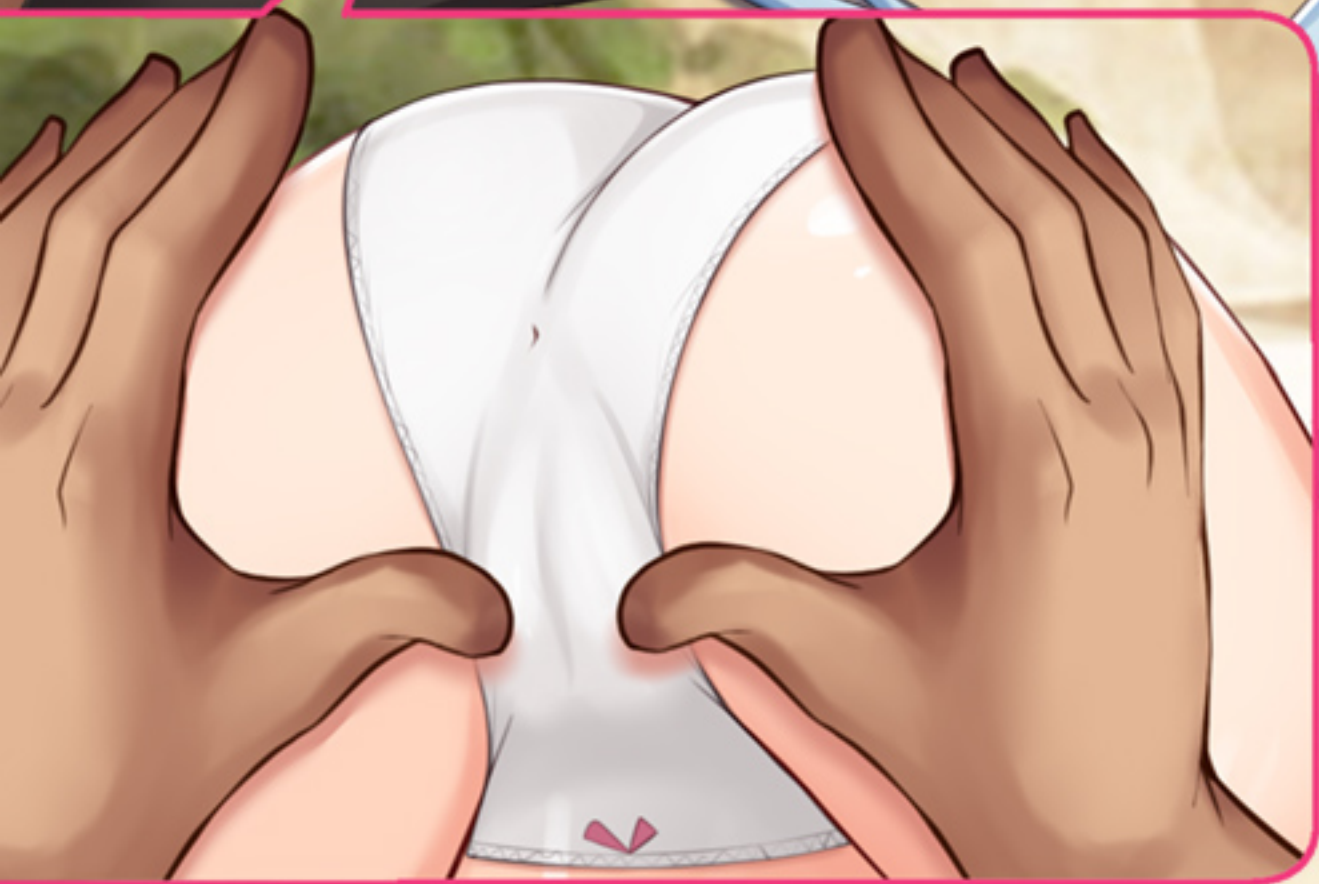
お頭の愛撫で  
鳴かなかった女は  
いねえからな？

無骨な指が下着越しに俺の割れ目を乱暴に愛撫する。  
どう考えても大賢者の愛撫の方が気持ちいい。  
でも、俺みたいなの美少女が、こんな山賊に…  
そう思うとこれはこれで興奮する。


かい

かい


びゅん



俺がオートモードから回復した時、そこはもう奴隷市場の控室だった。  
俺はオークション用のバニースーツに着替えさせられて、その出番を待っている状態だった。

  
マスター、ご気分は  
いかがですか？

ありがとう大賢者  
もう大丈夫だ

  
了。では肉体の  
主導権を  
お返しします。

そんなやり取りをしていた時の事だった。

よし、次はお前の番だ！  
ほら、こっちに來い！

キャッ…!!

俺は競り人に腕を掴まれ、無理やりステージに引っ張り出される。  
そこでポールに両手と片足を拘束され、Y字バランスのようなポーズで固定される。  
そして、競り人の合図とともに、俺のオークションがスタートするのだった。

こちらはイングラシア王国  
自由学園の生徒であり、  
しかも異種族適正ありの  
超レアモノとなっています！

く？！

おおっ…!!  
これは美しい…!!

素晴らしい…  
上玉だ…!!

ドキ

ドキ

競り人が俺の紹介をすると、客からは二斉に感嘆の声があがる。  
例えこういう場であっても、美少女扱いされてチャホヤされるのは悪くない。  
自尊心が満たされる。しかもこんな恥ずかしいポーズで、  
客からの性欲に満ちた視線に晒されていると、ドキドキしてしまう。

異種族適正ありですが  
ご覧の通り素晴らしい外見です  
もちろんこちらにも！

ひっ!!  
ごめんなさ...!!

おおっ!  
綺麗な割れ目  
じゃないかっ!!

しかもツルツルで...  
じつにワシ好みじゃぞい...!!

ネラッ

競り人は俺のバニースーツをずらし、割れ目を露出させる。  
客は一斉に歓声を上げて、俺の割れ目に視線を集中させる。  
これはヤバイ、子宮がムズムズしてきた...